

健全育成委員会

健全育成委員会では、青少年の健全育成に関わる事項の中から会員の皆さまの関心が高いテーマについて識者や専門家による講演会を開催しました。今後も、多くの方々にご参加いただき、ご家庭、学校でのPTA活動等にご活用いただければ幸いです。

第1回

令和5年7月16日(日)
研修大会の第3分科会として開催
パシフィコ横浜アネックスホール

演題 「本を読みなさいと言わない図書館!？」

講師 埼玉県立飯能高等学校
すみっコ図書館
主任司書 湯川康宏 氏

湯川氏は、本を読まない、読めない生徒の視線を大切に、「どんな生徒も必ず居場所が見つかる」をモットーに、これまでの図書館概念をくつがえす学校図書館づくりを行いました。7色に塗り分けられた館内にはコタツやハンモックなどを配置して快適さを向上する一方で、ジェンダーやいじめなどに悩む生徒向けの資料は貸出手続きを不要にするなど、いままでの学校図書館には見られなかった仕掛けは、生徒から親しまれ、生徒が集うことを第一に考えていることが最大の特徴です。

こうした生徒の自主性を尊重して読書意欲や好奇心を広げる試みは全国的に注目され、数多くある図書館の中から2020年文部科学省子どもの読書活動優秀実践校として大臣表彰を受けました。

会場では専用アプリを使い、参加者からのリアルタイムな質問にその場で回答する対話形式の講演会となり盛況なものとなりました。



第2回

令和5年9月16日(土)
講師ご自宅よりZoom配信

演題 「15年後の社会を生きるための進路づくり」

講師 「進路づくり」の講師
追手門学院大学客員教授
倉部史記 氏

現在の高校生を取り巻く環境や、進学後の現状など社会状況の分析を踏まえた上で、15年先に後悔しないために今考えておくべきこと、将来を見据えた人生設計についてのお話をさせていただきました。

生徒、保護者それぞれの視点から様々な分析資料と共に具体的な話を聞くことができました。「どのように将来を生き抜くかは本人次第であり、必要とされる人材であり続けるためには常に『学び続ける力』が求められている。」との言葉には参加者から多くの賛同の声が寄せられました。

また、保護者に求められる意識、支援のあり方については、「過去の自らの経験にとらわれず『問いかけ』を意識し、親の立場ではなく、同じ高さの視点に立った社会人としてのアドバイスを行う。」などの説得力のある話を聞くことができた講演会となりました。



第3回

令和5年11月18日(土)
波止場会館、Zoom併用

演題 「予測困難な時代だからこそ～自分を支える自己肯定感を育もう!～」

講師 一般社団法人
日本セルフエスティーム普及協会
代表理事 工藤紀子 氏

多くの会員の皆さまからご要望をいただき自己肯定感についての講演を実施しました。

工藤氏から「自己肯定感とは自分を認識し自己を確立する思春期の頃から下がりやすく、その環境要因を分析すると共に、自己肯定感を育むため今の自分自身を認め、受入れ、大切にすること。」「自分自身の頑張りや認めて、自らを大切に日々自分の心を満たすことを実践する。」「他人と比べるのではなく、過去の自分自身と比べることにより自己肯定感を醸成する。」「他者と多様性を理解し、個々が持っている価値観や考え方は皆違っていることを理解しながら生きてゆく。」といったお話をいただきました。

自己肯定感を下げない環境作りの重要性と、常にどのような場面、相手に対しても、言わなくてもわかるはずではなく、コミュニケーションをとり、相互の理解を確認することの大切さを再認識できる講演となりました。



令和5年度定期総会報告

令和5年6月3日(土)パシフィコ横浜にて、定期総会が開催されました。4年ぶりの対面での開催となり、準備段階での不安もありましたが、皆さまの温かなご協力とご支援により、無事に会を運営することができました。この場をお借りして、役員一同より心から感謝を申し上げます。

令和5年度役員については、橋本千春会長を含む6名が再任され、前年度地区理事から新たに6名が選出されました。また、対面開催であったため、感謝状や表彰状を、関係者に直接贈呈することが実現しました。

令和5年度は、引き続き会員の皆さまと対面での交流を重視しつつ、これまでの経験を活かし、状況に応じてオンラインのみ、またはオンラインと対面を併用するハイブリッド形式の事業計画を立案しました。

総会は円滑に進行し、提出された全議案についても承認されました。

ご審議いただき、誠にありがとうございました。

令和5年度 定期総会 成立要件と承認事項

【出席者数】(総会員数：290名)

各校PTA会長	85名
各校校長	85名
役員・理事	22名
委任状提出	76名
合計	268名

【決議事項】

- * 令和4年度事業報告・決算報告・監査事項
- * 令和5年度役員選任
- * 活動方針・スローガン・ミッション(案)
- 令和5年度事業計画・予算(案)

	項目	収入	支出	差額(繰越金)
令和4年度決算	一般会計	34,825,665	25,613,013	9,212,652
	研修事業会計	7,132,119	4,481,673	2,650,446
令和5年度予算	一般会計	32,322,652	32,322,652	0
	研修事業会計	7,230,446	7,230,446	0

【学び、行動するPTA】団体表彰：9校(学校番号順)

川和高校PTA	元石川高校PTA	城郷高校PTA
希望ヶ丘高校PTA	二俣川看護福祉高校PTA	釜利谷高校PTA
多摩高校PTA	伊勢原高校PTA	橋本高校PTA

令和5年度 賛助会員：3団体(50音順)

全力丸株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 東京工芸大学

令和5年度神奈川県立高等学校PTA連合会 役員・理事紹介

後列左から：植村副会長、川合理事(県西)、大島理事(川崎)、橋本理事(横浜中)、大瀧理事(平楽)、小林副会長、石井理事(県央)、富澤理事(横浜北)、大村総務、田辺理事(相模原)
 前列左から：釣総務、角田副会長、内田副会長、関総務、橋本会長、菊地会計、山形理事(横浜南)、村田監事、藤下監事
 ほか役員・理事：岩澤会計、皆川理事(横三)、武田理事(湘鎌)



※()は理事の所属地区

研修大会

令和5年7月16日（日）パシフィコ横浜アネックスホール

今年度の研修大会は4年ぶりに対面で開催いたしました。全体会の前段では、県教育委員会保健体育課から、自転車用ヘルメット着用努力義務化について、お話しいただきました。

全体講演ではITジャーナリストの三上洋氏より「高校生のネットリテラシー」と題して、昨今のインターネット事情をわかりやすく解説していただきました。保護者として情報をアップデートすることや、家族のコミュニケーションの大切さなどのお話があり、大変参考になる講演となりました。



全体講演後の三上氏と橋本会長



第1分科会の様子

全体会の後は、三つの分科会を行いました。

第1分科会：PTA活動支援 イベント企画・立案編（グループワーク）

テーマ：「保護者のための研修企画を考えてみよう」

～イベント企画・立案の方法を情報共有し、自校の委員会活動の参考に～

他地区からの参加者と情報交換ができるように班分けされたメンバーが協力して企画案を立てるグループワークを行いました。限られた時間の中でしたが、創造力とアイデア満載の企画案が勢揃いしました。

第2分科会：PTA活動支援 広報編（勉強会）

テーマ：「読んで、見て、楽しい広報紙」

～紙面づくりの基礎、記事の見せ方のポイントを学びましょう～

神奈川新聞社の小野たまみ氏より、事前に参加者からいただいたアンケートの回答を参考に、広報紙づくりの基本となる記事の書き方や紙面レイアウトを考える上でのポイントについて、わかりやすく解説していただきました。

第3分科会：健全育成講演会

テーマ：「本を読みなさいと言わない図書館!？」

～読書だけじゃない、全国の優れた11館に選ばれた図書館を
公立高校に作っちゃったすごい司書さんのお話し～

内容は、本紙1ページに記載

研修大会を通じて、保護者同士の交流が活性化し、家族のコミュニケーションの充実につながれば幸いです。ご参加いただいた皆さま、講演講師の皆さま、運営にご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

自転車乗車用ヘルメット着用努力義務化

自転車乗車中の致死率を背景に、道路交通法の一部改正（2022年4月27日公布）により、「全年齢に対する自転車乗車用ヘルメットの着用努力義務化」が2023年4月1日より施行されました。

未着用でも罰則はありませんが、「ヘルメットで守れる命は多い!」です。

交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることがとても重要です。大切な命を守るために、子どもだけではなく、大人も通勤・通学等、日常生活で自転車に乗るときもヘルメットを着用して、頭部を保護しましょう。



神奈川県
PRキャラクター
かながわキンタロウ

第68回神奈川県立高等学校PTA連合会大会

今年度の県大会は12月10日（日）にパシフィコ横浜とオンライン配信のハイブリッド形式で高校の家庭科等で学んでいる資産形成の講演をメインに、広報紙コンクール表彰式やPTA活動事例発表等を行いました。



主催者あいさつで登壇する橋本会長



吉川前副会長の謝辞

PTA活動事例発表では、舞岡高等学校から「マイタケプロジェクト」と題して、学校・生徒・保護者・地域と協力し、学校の敷地内にある竹林を整備して自然と共存する環境づくりに取り組んだこと、相模原高等学校から「神奈川県まなびや基金」を利用して、熱中症対策のためのテントや屋外冷風機の購入を事業提案し寄付を募ることについて発表がありました。

2校共に学校の教育活動を支援しながら充実したPTA活動を行っており、たいへん参考となる内容でした。



舞岡高等学校PTAの皆さまの発表の様子



相模原高等学校PTAの皆さまの発表の様子

講演では、バックンマクンのお二人から「お金にまつわる笑撃的国際交流」と題して資産形成についてお話しいただきました。はじめに参加者同士で自己紹介をしながらコミュニケーションをとるコーナーがあり、会場の雰囲気か和む中、お二人自ら舞台から客席に降りて質疑応答するというサプライズもあり、楽しい時間が続きました。

一見難しそうな話も笑いを交えて解説いただいたことで、わかりやすく身近に感じる事ができたのではないのでしょうか。



バックンマクンのお二人と橋本会長と角田副会長

本大会全般を通して得られた気付きをご家庭でのコミュニケーションやPTA活動にご活用いただければ幸いです。

第47回 広報紙コンクール 第7回 広報紙「表紙」コンクール表彰式

第47回広報紙コンクールは、審査委員による厳正な審査の末、最優秀賞には神奈川総合高等学校の「ざっくばらん」が選出されました。また、第7回広報紙「表紙」コンクールは、高P連ホームページで行われたオンライン投票により、七里ガ浜高等学校の「七里ガ浜」が優秀賞を獲得しました。

神奈川新聞社の小野たまみ氏（審査委員長）は受賞作品について、「単なる写真の並列ではなく、記事や見出しを交えた編集に工夫が見られた作品が多かった。」と評価し、「このアプローチにより、現場にいなかった人々にも情報が鮮明に伝わり、生徒や保護者にとっては記憶を呼び覚ます価値あるメディアになっている。」と述べました。



表彰校の代表の皆さま

さらに、小野氏は「デジタル媒体を取り入れた新しい広報手法の兆しが見え始めた。」とも指摘し、「ページ数に制約のある紙媒体の限界を超え、埋もれてしまって掲載できなかった情報を活用する道が拓けつつある。」との見解を示しました。

これらの講評は、今後の広報紙作成に際して非常に有益な示唆となりました。



審査委員長の小野たまみ氏

<p>優秀賞 [神奈川新聞社賞] 七里ガ浜高校</p>	<p>優秀賞 [県教育委員会教育長賞] 多摩高校</p>	<p>最優秀賞 神奈川総合高校</p>	<p>優秀賞 [高P連校長賞] 生田東高校</p>	<p>優秀賞 [安全振興会賞] 海洋科学高校</p>
<p>[[表紙]コンクール優秀賞] 七里ガ浜高校</p>	<p>[安全振興会 写真賞] 市ヶ尾高校</p>	<p>[写真賞] 座間高校</p>	<p>[企画賞] 大和高校</p>	<p>[編集賞] 横須賀高校</p>
<p>[奨励賞] 鎌倉高校</p>	<p>[奨励賞] 相模原弥栄高校</p>	<p>[奨励賞] 中央農業学校</p>	<p>[奨励賞] 柏陽高校</p>	<p>[奨励賞] 元石川高校</p>

第69回 関東地区高等学校PTA連合会大会栃木大会 ～参加して感じたこと～

令和5年7月7日、8日に関東地区の高等学校PTA会員が一堂に会して、「未来を描き、切り拓いていこうとする子どもたちをはぐくむために」を大会テーマに、関東地区高等学校PTA連合会大会栃木大会が開催されました。3年ぶりの完全リアル開催です。

1日目は宇都宮北高等学校の吹奏楽部の迫力ある演奏から始まり、その後公益財団法人浜松市花みどり振興財団はままつフラワーパーク理事長で樹木医の塚本こなみ氏から「花みどりの力」を演題に記念講演がありました。樹木医として活動しながら園芸を通して、学校にいけない子どもたちに寄り添ってきた塚本氏の話の聞きませした。植物も子どもたちも大きく元気よく育つためには取り囲んでいるさまざまな環境が豊かであることが必要だということを感じました。

2日目は5つの分科会のテーマごとに各県から選ばれた単位PTAの活動事例発表が行われました。神奈川県からは昨年の県大会発表校の伊勢原高等学校が第1分科会でSDGsの取り組みをお話しされ、参加者は、その後の驚きの事実まで聞くことができました。とても興味深い発表で、会場からは多くの質問があり、活発に意見が交わされました。他県のPTAの方々の熱心さも感じられ、とても良い分科会でした。

今大会ではあらためてリアル開催の良さを感じられました。一方、遠くからでも参加しやすいオンライン配信や、時間がある時に視聴できるオンデマンド配信など、より多くの会員が参加できる開催方法について考えていく必要性も感じた大会となりました。

伊勢原高等学校PTAの皆さまから大会の感想をいただきました！

▶まさか関東大会に呼ばれるなんて！と言いたい所ですが、神奈川県大会ではなかなかの手応えがあり、役員の間では「もしかして栃木大会行くかも?!」と話しは出ておりました。招待をいただいた時は、ここまで来たら楽しもう！と楽しく参加し良い経験となりました。今後のPTAのあり方についても考えさせられる大会でもあり、伊勢原高校では委員会全体で話し合いを行っており、誰もが無理なく参加し活動ができるPTAを目指しております。



伊勢原高等学校PTAの皆さま



発表の詳細はこちら

神奈川県立高等学校PTA連合会がおすすめる 「ハイスクール24」(団体総合生活保険)

おすすめ
ポイント1

51%*割引適用

*団体割引25%、損害率による割引35%(除く天災危険担保特約)を適用。

おすすめ
ポイント2

24時間 365日

<ケガや賠償事故を補償>

おすすめ
ポイント3

個人賠償責任・国内無制限(国外1億円)

<神奈川県の自転車条例にも対応>

おすすめ
ポイント4

弁護士費用等補償(ZEタイプのみ)

※詳細はパンフレットをご参照ください。

<いじめ、嫌がらせ、痴漢などの被害事故にも対応>

大切なお子様を24時間しっかりサポートする「ハイスクール24」。学校を通じて、生徒・保護者の皆さまに「ご案内チラシ」を配付予定です(2月中旬頃配付予定)。ご関心のある方は、神奈川県立高等学校PTA連合会HPをご確認ください。Webによるお手続きが可能です。

■このご案内は商品の概要をご説明したものです。詳細はパンフレットを、ご加入にあたっては、重要事項説明書を必ずお読みください。ご不明な点がございましたらご案内チラシ・パンフレット等に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

<引受保険会社>



東京海上日動火災保険株式会社

横浜中央支店 金融公務課
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-4
みなとみらいビジネススクエア6階
TEL:045-224-3519

「かながわ教育ビジョン」について(人づくりコラボ・教育月間含む)

県教育委員会では、かながわ人づくり推進ネットワークと連携し「かながわ教育ビジョン」で掲げた「心ふれあう しなやかな 人づくり」を進めています。そうした人づくりの推進に向け、県民一人ひとりが、教育について考え、行動するための機会として「かながわ教育月間」の設定や「かながわ人づくりコラボ」の開催等に取り組んでいます。今後ともPTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

県立高校改革

県教育委員会では、「生徒の学びと成長にとって何が重要か」という視点を最優先にする」という基本的な考え方に立って、すべての県立高校で、計画に基づく改革に取り組んでいます。

令和4年10月には、令和6年度から9年度までの取組を示したⅢ期計画を策定しました。

また、令和6年度には、再編・

統合により、厚木王子高校が開校します。

引き続き、PTAの皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

神奈川 県立高校改革 検索

インクルーシブ教育実践推進校について

本県では、共生社会の実現をめざし、すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び、共に育つインクルーシブ教育を推進しています。実践推進校では、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を広げるとともに、すべての生徒が共に学ぶことを通じて、互いを理解しながら、社会性・思いやりの心を育てています。令和6年度からは、新たに4校加わり、18校になります。引き続き、皆様の一層のご理解とご協力をお願いします。

スマートフォン等の適切な使用について

高校生のスマートフォン等を利用したSNSやネットゲームにおける犯罪被害、誹謗中傷や

いじめ等のトラブルに巻き込まれるケースが増えています。

インターネット上に一度投稿し拡散された情報は、全てを消すことはできません。

また、睡眠時間を削ってまでスマホ等を使用するなど、生活に支障をきたす状態はインターネット依存です。

スマホ等の使用に関するルールをご家庭で話し合ってください。

子どものケータイ安全・安心な利用 検索

かながわ 依存症対策 検索

ペーパーティーチャー研修講座(県立総合教育センター)

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校のいずれかの教員免許状を所有している方、又は免許が失効している方を対象に、「ペーパーティーチャー研修講座」を2月22日(木)に開催します。詳しくは、当センターウェブサイトをご覧ください。なお、令和6年度も同講座を3回開催する予定です。

【問合せ】県立総合教育センター企画調整課 電話 0466-81-1759

「一人で悩まないでお気軽にご相談ください」

不登校やいじめなどの学校生

活に係る様々な相談は県立総合教育センターの教育相談へ

「24時間子どもSOSダイヤル」
0120-0-78310 24時間365日

「不登校ほっとライン(電話相談)」
0466-81-0185 毎日
8:45~16:45(年末年始を除く)

「Eメールによる相談」
kng-k-mail sodan@pen-

kanagawa.ed.jp

「来所による相談」(要予約)
0466-81-8521

月~金 8:30~17:15
(祝休日・年末年始を除く)

「PTA活動のためのハンドブック」をご活用ください

県教育委員会では、PTAに対する理解をより深めていただくためのテキストとして、「PTA活動のためのハンドブック」を作成しております。

また、このハンドブックの基本的な事項をまとめた概要版も作成しております。

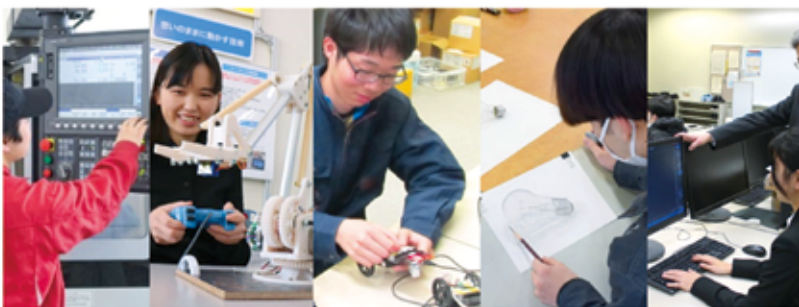
どちらも県ホームページからダウンロードしていただけますので、目的に合わせてご利用ください。

かながわ PTA ハンドブック 検索

将来はエンジニア!

KCIT

神奈川県立産業技術短期大学校



エンジニアにつながる5科で学ぶ!

- 生産技術科
- 制御技術科
- 電子技術科
- 産業デザイン
- 情報技術科

- 神奈川県が運営する短大!
- 学費は年間50万円以下!
- 高校の専攻を問いません!
- 4年制大学への3年次編入が可能です!

最新情報はホームページへ!

<https://www.kanagawa-cit.ac.jp/>

お問い合わせ

〒241-0815
横浜市旭区中尾2-4-1
(運転免許センター隣)

電話 045-363-1232



令和4年度見舞金等給付金総額

	件数(件)	金額(円)
死亡見舞金	2	22,500,000
障害見舞金	6	3,261,000
負傷等見舞金	1,740	59,037,200
歯牙欠損見舞金	0	0
義歯見舞金	15	900,000
供花料	20	2,000,000
合計	1,783	87,698,200

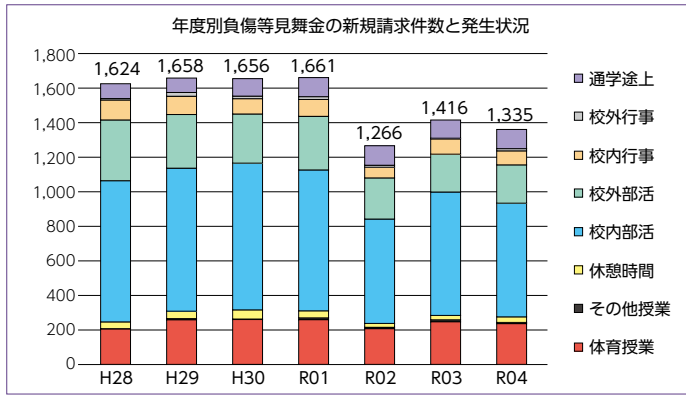
次の表は、令和4年度の見舞金等給付総額と、直近7年間における負傷等見舞金の新規請求件数及び発生状況です。令和4年度新規災害件数は令和3年度から81件減少しました。この数は、コロナ前4年間の年平均より315件下回ります。請求のタイムラグや生徒数の減少も考えられますが、部活動における生徒や指導の先生方による事故対策の成果が出たものと思います。今後の動向に期待しています。

見舞金等の給付状況

次は令和4年度の負傷の内訳件数表です。ケガが一番多いのが骨折、次が靭帯損傷という順位と比率は例年ほとんど変わりません。膝靭帯損傷の継続請求件数が多いのは、治療が長期間にわたるためです。種目別内訳の割合は、部活動ではグラウンド種目は骨折が多く、体育館種目は靭帯損傷が多くなっています。授業や学校行事では球技種目での指の骨折が目立ちました。



一般財団法人
神奈川県立高等学校
安全振興会



令和6年度の会費年額は次のとおり変更はありません。

学校・課程	会費額			合計
	純掛金	会費内 付加共済	一般 会費	
高等学校(※) 全日制	708	372	120	1,200
定時制	354	186	60	600
通信制	106	56	18	180
中等教育学校	708	372	120	1,200

(※)「高等学校」には特別支援学校高等部を含む。

令和4年度負傷等内訳表

内訳	新規		継続	合計
	件数	金額		
骨折	603	103	706	
捻挫	93	14	107	
脱臼	52	30	82	
打撲	104	9	113	
外傷	33	2	35	
内臓	20	8	28	
歯牙	40	5	45	
アキレス腱断裂	4	0	4	
半月板損傷	36	17	53	
膝靭帯損傷	124	164	288	
足関節靭帯損傷	113	10	123	
ヘルニア	60	32	92	
その他	53	11	64	
合計	1,335	405	1,740	

次は令和4年度の負傷の内訳件数表です。ケガが一番多いのが骨折、次が靭帯損傷という順位と比率は例年ほとんど変わりません。膝靭帯損傷の継続請求件数が多いのは、治療が長期間にわたるためです。種目別内訳の割合は、部活動ではグラウンド種目は骨折が多く、体育館種目は靭帯損傷が多くなっています。授業や学校行事では球技種目での指の骨折が目立ちました。

令和6年度の会費年額は次のとおり変更はありません。

優秀賞(6名)
坂田真萌、清水若奈(以上、横浜平沼)、浅川花和(鎌倉)、加藤遙乃(大磯)、藤平莉緒菜(相模田名)、関戸風美(津久井)

佳作(34名)
山口大輝(川和)、石澤慧慧、江

パシフィコ横浜での朗読発表

小嶋涼香さん(川和)
山本咲さん(向の岡工業)
「青い林檎 紅い葡萄」

最優秀賞(2名)
山本咲(向の岡工業)
「健康のありがたみ」
小嶋涼香(川和)

優秀賞(10名)
春日美玖、宮原そら(以上、白山)青柳希和、二本柳明音(以

ポスターコンクール

応募数は170点(11校)で昨年より27点増加しました。最優秀賞の2点を原画として「安全推進月間」と「作文募集」のポスターを作成して、「安全推進月間」のポスターは令和5年9月末に全校に配付しました。「作文募集」のポスターは令和6年5月に全校へ配付します。(以下、敬称略)

口彩織、大熊志心、宮川愛叶(以上、麻生総合)、佐々木葵、高濱遥、仲地結衣菜、成田愛紗、林泉舞、水口結心、森瑞貴、諸山玲菜(以上、菅)、遠藤杏美(平塚農産)、岩崎湧雅(厚木清南)、阿久津知希、市倉美海、岩本樹、白井ケンナ、岡辺真衣、木津来未、久手堅末希、黒岩のどか、近藤優羽、佐藤海音、澤村萌花、須藤彩葉、高野姫星、玉置理紗、平城里花、増田大翔、山村涼生(以上、相模田名)、大谷悠菜、久保田空来(以上、津久井)

一般財団法人
神奈川県立高等学校安全振興会

横浜市中区山下町1番地
シルクセンター326号室
電話 045-274-8189
FAX 045-274-8190
URL http://www.kanagawa-hsanzen.or.jp



上、上矢部、山田七楓、丹生谷瑛香(以上、茅ヶ崎)、妹尾もえみ、高橋奏江(以上、市立横須賀総合)、福島奏美、阿部文香(以上、横浜隼人)

佳作(10名)
塩原瑞瑛(白山)、三宅結菜、光森弥央(以上、上矢部)、疋田隆喜、山本麻夏、杉本ころこ(以上、市立横須賀総合)、高頭知里、濱野さくら、渡辺夢雅、家名田優奈(以上、横浜隼人)

テーマは、「安全」または「健康」

作文コンクール

応募数は659点(14校)でした。最優秀賞2点を「令和6年度版安全振興会のご案内」に掲載しました。

また、第61回神奈川県立高等学校PTA連合会大会で本人による朗読が行われました。(以下、敬称略)